

後期臨床研修プログラム

【放射線科】

■一般目標

2年間の初期臨床研修の中で、一般臨床医に必要な放射線科医学の基本となる考え方、臨床技術などを学ぶ、特に、プライマリ・ケアの場面で必要な画像診断法について、その手技・装置の操作・最低限の診断学を習得する。

■行動目標

- (1) 患者－医師関係
 - ・患者の社会的側面を配慮した意思決定ができる。
 - ・守秘義務の徹底。
- (2) チーム医療
 - ・画像診断および放射線治療において、他科医師と円滑なコミュニケーションを持ち、患者にとって最良の診療を行うことができる。
- (3) 問題対応能力
- (4) 安全管理 *
- (5) 医療面接 *
 - ・患者の的確な問診ができる。
 - ・コミュニケーションスキルの習得
- (6) 症例提示
- (7) 診療計画
 - ・クリニカルパスの活用
 - ・癌末期医療における緩和ケア、在宅医療、介護を含めた総合的治療計画に参画できる。
- (8) 医療の社会性 *
 - ・医療保険制度
 - ・社会福祉、在宅医療
 - ・医の倫理
 - ・麻薬の取り扱い
 - ・文書の記録・管理について

*については、全研修医を対象とした教育プログラムを作成する。

■研修および研究のための会合

日本医学放射線学会総会	年1回
日本医学放射線学会秋季臨床大会	年1回
日本神経放射線学会	年1回
日本脳神経血管内治療学会	年1回
日本血管造影 I V R 学会	年1回
神経放射線カンファレンス	年12回
両毛消化器カンファレンス	年2回 (地域医師の参加可能)
足利画像診断研究会	年2回 (地域医師の参加可能)